



2024 年 10 月 16 日

配信先：京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、
文部科学省記者クラブ、科学記者会、
環境省記者クラブ、環境記者会

総合地球環境学研究所

京都市教育委員会と総合地球環境学研究所の 連携協定締結式の開催について

京都市教育委員会と大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所（地球研）は、相互に人的・物的資源の交流促進等を通じ、教育上の諸課題への的確な対応や国際的な視野に立った環境に関する教育・研究を推進するとともに、その成果を生かして双方の教育・研究の充実・発展に寄与するために協定を締結する運びとなりました。

このたび、協定締結式を下記のとおり実施いたしますので、ご取材くださるようお願い申し上げます。

記

1. 協定締結式

(1) 日 時 令和 6 年 10 月 25 日(金) 14 時～（30 分程度）

(2) 会 場 総合地球環境学研究所 セミナー室 3・4
（京都府京都市北区上賀茂本山 457 番地 4）

(3) 出席者 京都市教育長 いなだ しんご 稲田 新吾

総合地球環境学研究所長 やまぎわ じゅいち 山極 壽一

(4) 取材申込 取材をご希望の場合は、10 月 24 日(木) 17 時までに地球研広報室
(kikaku@chikyu.ac.jp) へご連絡ください。

2. 連携の経緯

これまでから地球研と京都市教育委員会では、小・中・高生を対象とした講座やカリキュラム開発、教職員の研修会等を実施し、環境教育分野において連携して取り組んできたところ
です。このたび、相互の連携協力事項を協定として明文化することで、環境・SDGs に関する

教育・研究・社会貢献活動におけるさらなるパートナーシップ強化を図り、教育現場からのフィードバックを通じて総合地球環境学を構築することを目指しています。

3. 主な事業予定

(1) 京都市立学校園との連携

いくつかの京都市立学校園と連携し、現場において、環境・SDGs をテーマにした学習プログラムの開発や実証を行い、将来を担う多様な生徒の意識・行動の向上・醸成に貢献することを目指します。また、効果の検証も行い、優良事例やモデルとして、広く展開できるような知見や成果の創出も進めます。具体的には、これまでも実績のある岩倉南小学校、安朱小学校、京北小中学校、西京高等学校等に加え、京都工学院高等学校等との連携を予定しています。

(2) 京都市立学校園の教職員の交流・研修

地球研は、これまでも毎年、高校を中心とした理科教員向けの研修会を実施してきました。これを体系的に展開すると共に、地球研が開催・共催する企画のうち、教職員の資質能力の向上等に資するものについて、市教委と地球研が連携し、積極的に周知を行います。

(3) 地球研主催イベント等との連携

地球研が主催する一般市民向けのイベントにおいて、京都市立学校園の連携企画を実施します。2024 年 11 月 3 日に開催する地球研オープンハウスでは、初めての試みとして、岩倉南小学校 6 年生の「地球研への研究提案！」を展示する予定です。

【問合せ先】

総合地球環境学研究所(地球研)

広報室 岡田、柴田、松本

Email: kikaku@chikyu.ac.jp

Tel: 075-707-2128、2482

【参考】 京都市教育委員会との連携事例について

(1) 京都市立学校園との連携

いくつかの京都市立学校園と連携し、現場において、環境・SDGsをテーマにした学習プログラムの開発や実証を行い、将来を担う多様な生徒の意識・行動の向上・醸成に貢献することを目指します。また、効果の検証も行い、優良事例やモデルとして、広く展開できるような知見や成果の創出も進めます。具体的には、これまでに実績のある岩倉南小学校、安朱小学校、京北小中学校、西京高等学校等に加え、京都工学院高等学校等との連携を予定しています。

◆事例①岩倉南小学校： 地球研が調整役となり、京都府立北稜高校の生徒が、岩倉南小の生徒に、授業を行う取組。新しいプログラム実施も試行予定（(3)にて後述）。

参考：<https://www.chikyu.ac.jp/publicity/publications/others/img/Door.pdf>

◆事例②安朱小学校、京北小中学校等： 浅利美鈴教授（当初、京都大学）が、SDGsカリキュラムをともに開発。書籍も出版（右図）。廃校（元京北第一小）を利用した京都里山SDGsラボ「ことす」には、地球研の学習拠点も設け、オリジナルな教育プログラムも開発している。

参考：<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/publicity/detail/354/>

★2024年11月1日（金）オリジナル教育プログラム@京北のオリエンテーションを予定【取材可能】

◆事例③京都工学院高等学校： 生徒の職業体験等を目的として実施されるシャドーイング（2024年11月13日（水））に協力する予定。【取材可能】



(2) 京都市立学校園の教職員の交流・研修

地球研は、これまでも毎年、高校を中心とした理科教員向けの研修会を実施してきました。これを体系的に展開すると共に、地球研が開催・共催する企画のうち、教職員の資質能力の向上等に資するものについて、市教委と地球研が連携し、積極的に周知を行います。

◆事例④高校教師を対象とした理科研究会： 2024年度は、7月31日（水）に地球研にて実施。

<プログラム>

9：30－10：00 ウェルカムスピーチ及び講話 近藤康久教授「文理融合と社会共創が拓く考古学の新地平：オマーンでの取り組みから」

10：00－11：00 講義及び質疑 林健太郎教授「地球環境問題の根源 ～窒素を手に入れた人類」

11：00－12：00 所内視察及びまとめ ナビゲーター／モデレーター 阿部健一先生

(3) 地球研主催イベント等との連携

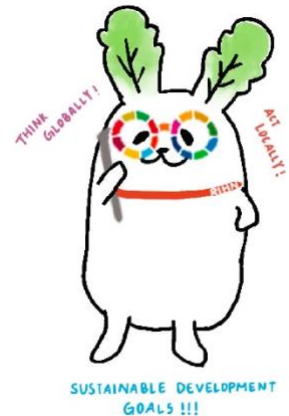
地球研が主催する一般市民向けのイベントにおいて、京都市立学校園の連携企画を実施します。2024年11月3日に開催する地球研オープンハウスでは、初めての試みとして、岩倉南小学校6年生の「地球研への研究提案！」を展示する予定です。

◆事例⑤岩倉南小学校との新たな連携

地元である岩倉南小学校との連携を、持続可能なものにすると同時に、京都市内や、全国にモデル展開できる教育プログラムを開発するため、2024年10月18日（金）13:45からの授業にて、「地球研めがねワークショップ」を実施予定。地球研の研究者やスタッフが、岩倉南小にお邪魔し、6年生約130名を対象に行う。地球研ならではの、研究に対する取り組み方・・・「環境問題を文化として捉え、根本解決を目指す」「様々な立場の人と協力して、学際的に研究する」・・・などを、少しでも理解してもらった上で、地球研に対する研究提案を行ってもらう内容。【取材可能】

そうしてできた研究提案書は、2024年11月3日（日）に開催される「地球研オープンハウス」でも展示予定。【取材可能】

参考：<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/events/detail/230/> ※リーフレットでの紹介部分↓



企画一覽

トーク

12:10 - 12:40
所長・山極 寿一による講演
13:30 - 14:30
地球研ゆるトーク
地球研の研究の3本柱となっているプログラムのディレクター3名が、気になるトピックについて考えていることをゆるっと話すラジオ風トーク。

展示対話

みんなでつくろう！地球展
地球研の研究成果を集めて、地球環境問題を考える対話型展示を鋭意制作中。展示を読んで、わかりにくいポイントや発見ポイントを書き込んでみてください！みなさんの意見は、今後の展示制作に活かしていきます。

体験

【FairFrontiers プロジェクト】
チョコレートはどこから来たの？
農作物の生産過程とその風景
石鹸、コーヒー、タイヤ、……。みなさんが普段使うものや食べるものは、どこでどのように生産されているのかを紹介するゲームです。世界各地の農作物の生産風景と、そこにある多様な植物・動物と一緒に探してみましょう！

【Sustai-N-able プロジェクト】
カレーおかわり！

【Fashloks プロジェクト】
野生動物のまもりかた
世界中の熱帯雨林で、野生動物の種類や数を調べてまもる方法を考える研究を紹介します。「まもりかた」は、研究者と現地で動物を狩って食べて売っている人々が一緒に考えています。野生動物のまもりかたについてお話しませんか。

【Aakash プロジェクト】
インドの稲わら焼きを日本から考えよう
インド・パンジャブ地域での稲わら焼きはデリー首都圏の大気汚染にも影響します。ブースでは大気汚染の現状と、解決のためにプロジェクトで取り組んできた活動成果を報告します。持続可能な農業について一緒に考えましょう。

【有機物循環プロジェクト】
地球研コンポスト
かき混ぜて、見て、におってみよう
野菜くずや台所の生ゴミを堆肥にするコンポスト。地球研で開発した「ドライ・コンポスト」は従来の方法と違い、水を使わないため、汚臭や汚水、虫の発生を防ぎます。仕込み前後、ごみの投入、熟成の4段階を実演します。

【上廣環境日本学センター】
人間と自然の“あいだ”をつなぐ

くせになる！地球犬ラポストーリー上映
地球犬と研究者が、地球研の実験施設にある最先端の分析機器を使った研究を紹介する動画を一挙上映！

京都市立岩倉南小学校のみんなとのコラボ展示も！

【LINKAGE プロジェクト】
ヨロンの海、太古からいま
ヨロンブルーのサンゴ礁でおこなった調査活動のビデオ上映や、与論島の自然と暮らしを記録した古写真を展示します。陸と海のはざまのサンゴ礁生態系に与論島の人間活動がどう影響を与えてきたのか考えてみましょう。

【SceNE プロジェクト】
環世界体感ドーム SceNERIUM
エアドームで喜界島の美しいサンゴ礁を体験。プロジェクトで制作した「サンゴの声」が響き、視覚と聴覚の両方から海洋環境を感じる特別な空間です。上映後、海洋環境やサンゴについて研究者と話す対話タイムもあります。

【計測・分析部門】
水の重さ、正確に測れる？